

## 編集後記

あんしんあんぜん



アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail [avenir4you@gmail.com](mailto:avenir4you@gmail.com)



台風一過で、朝晩涼しくなってきましたね。

先日上陸した超大型台風14号は、僕の郷里・宮崎県に大きな

被害をもたらしたようです。これから収穫を迎えるはずだった「実りの秋」への影響が心配です。

昔から宮崎は台風が多く、子どもの頃の僕は台風が来るのが（不謹慎ながら）少しだけ楽しみでもありました。

ひとつは単純に学校が休みになるから。(^^)

でも一番は、台風に備えて家族が一致団結して準備を進める緊張感が何となく嬉しかったからだと思います。

なんだか怪獣の襲来に備えるウルトラ警備隊の一員になったような気分。弟と二人で僕はローソクを買いに行ったり、ローソクの台にする空き缶を確保したり、懐中電灯の準備をしたりしていたことを覚えています。

宮崎の実家は台風が来ると停電になることはしょっちゅうで、床下浸水も何度かありました。

暴風雨が吹きすさぶ中ローソクを灯してただただ電気の復旧を待つ間、心細く不安なはずなのに、心のどこかでワクワクしていたような気がします。

きっとそれは、僕がひとりじゃなかったから。

家族と一緒にいてくれる。頼もしい大人たちがまわりにいてくれるという安心感があったからだと思います。



なぜ子どもたちを守れなかったのかと悔やまれる事故や事件が続いています。

静岡・牧之原市で通園バスに置き去りにされた園児が死亡した事件、11歳の女兒が運転する

レーシングカートが暴走して観客席の2歳男児が死亡した北海道の事故。

でもそんな不幸な出来事を、うちの職場は関係ないからと、他人事で済ませるべきではありません。



「**心理的安全性**」という言葉があります。組織の中で**怖さや恥ずかしさを感じることなく、自分を包み隠さな**  
**いで自然体で発言できる状態**のことです。変な質問をして無知だと思われることを気にしたり、面倒臭がられたり否定されたりすることを気にして、思ったことを口にしない従業員の方はいませんか？

心理的安全性が高いと、自分の意見を素直に発言でき、チームに積極的に関わることとなります。

仕事をする上での問題点や課題を常日頃からみんなが考え、自然に意見を交わすことができれば組織全体のパフォーマンスも上がるはずですよ。

見ざる言わざる聞かざる



それじゃダメー！

以前、知り合いの会社の経営者の方が、どうも従業員が自分（社長）の悪口を言っているらしいと職場に監視カメラとマイクを取り付けたことがありました。従業員にとっては「心理的安全性」とは真逆の状態ですよ。

結局、その事業所の従業員全員が退職していくという事態になり、しばらくしてその事業所は閉鎖しました。

前述の子どもたちが亡くなった不幸な事件も、最悪の結果に至る手前で何らかの小さな不安や疑問が頭によぎった従業員やスタッフがいたのではないかと僕は思うのです。

どうか**経営者や上司の方には、目的を共有した上で「心理的安全性」がある職場づくりを意識してほしい**と思います。企業人にとって**上司こそ最大の職場環境**ですからね。



8月の下旬に久しぶりに故郷の宮崎に帰省して、コロナ禍で会えなかった両親と3年ぶりに

会うことができました。それなりに歳はとったと感じましたが、元気そうで安心しました。

僕が宮崎から大阪に戻るのと入れ替わりに、昨年の12月に式を挙げた僕の息子夫婦が、

結婚の報告と新婦の紹介のため宮崎の実家を訪れたことが、両親はとても嬉しかったようです。

息子夫婦が宮崎を発った夜、両親に電話すると「**来てくれて楽しかった。おかげで若返った。**」と弾む声。(^^)

コロナ禍で変化のない不自由な生活を送る中、未来を感じさせる若い2人に出会ったことが刺激になったみたい。

これまで安心と安全をいっぱいくれた両親に、僕もちょっぴり親孝行できたのかもしれない。^^



最近  
は  
僕  
自  
身  
が  
老  
い  
る  
シ  
ョ  
ツ  
ク  
で  
す